

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

仙北市新しい地方経済・生活環境創生交付金計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

秋田県仙北市

3 地域再生計画の区域

秋田県仙北市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、国勢調査によると、1955年の45,787人をピークに減少しており、2020年には24,610人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年には総人口が13,013人となる見込みである。

年齢3区分別にみると、平成7年（1995年）には総人口34,945人に対し、年少人口（0～14歳）が5,063人、生産年齢人口（15～64歳）が22,111人、老年人口（65歳以上）が7,771人と老年人口が年少人口を上回っており、少子高齢化が急速に進行している。令和2年（2020年）には総人口24,610人（年齢不詳人口含む）に対し、年少人口が2,135人、生産年齢人口が11,845人、老年人口が10,533人となっており、総人口に占める老年人口の割合は約43%となっており、人口減少と少子高齢化の進行は、地域経済の停滞とコミュニティの活力減退を招く大きな要因となっている。

本市の自然動態（出生・死亡）は、RESASの統計によれば、平成7年（1995年）には既に死亡数が出生数を上回る、いわゆる「自然減」の状態となっている。それ以降も、毎年「自然減」は続いており、減少数は平成7年（1995年）には、82人だったものが、令和3年（2021年）には391人まで拡大している。

社会動態（転入・転出）は、平成7年（1995年）には転出数1,073人が転入数904人を上回る、いわゆる「社会減」の状態になっている。その後も、現在まで毎年転出超過で「社会減」の状態にあり、令和2年（2020年）には転出数551人、転入数

410 人で 141 人の「社会減」となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、市民の幸福度が下がり、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民幸福度を高め、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、観光客等の交流人口を増やすとともに、移住を促進し、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、市政理念である「幸福度全国 No.1」を目指し、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 人、組織、未来づくり
- ・基本目標 2 幸福度にあふれる「仙北市」を次世代につなぐ
- ・基本目標 3 優しさにあふれ健やかに暮らせるまち
- ・基本目標 4 観光・国際交流・文化財の保護と活用・スポーツ振興の推進による幸福度 No.1 のまちづくり
- ・基本目標 5 創造性あふれる産業が息づくまちづくり
- ・基本目標 6 インフラ整備は、地域の発展と市民生活の質を向上させる
- ・基本目標 7 「誰をも取り残さない教育」、「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」による幸福度 No.1 のまちを目指して
- ・基本目標 8 市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され信頼される病院運営の構築

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	「持続可能な行財政基盤の確立 並びに行政サービスの充実」満	14.6%	14.6%超	基本目標 1

	足度			
イ	生産年齢人口	11,116人	10,002人以上	基本目標 2
ウ	仙北市市民意識調査満足度(満足) 「生涯を通じた健康づくりの推進」	12.6%	14.0%	基本目標 3
エ	観光客満足度	43.6%	45.8%	基本目標 4
オ	農業産出額	49 億 4 千万円	49 億 6 千万円	基本目標 5
カ	経常収支比率(水道)	-	前年比3.0%増	基本目標 6
キ	市内在住高校生地元就職率	45.0%	50.0%	基本目標 7
ク	市民意識調査市民満足度(病院等の充実)	35.2%	40 %以上	基本目標 8

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生交付金(新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金))の活用(内閣府):【A3017】

① 事業の名称

仙北市新しい地方経済・生活環境創生交付金事業

ア 人、組織、未来づくり事業

イ 幸福度にあふれる「仙北市」を次世代につなぐ事業

ウ 優しさにあふれ健やかに暮らせるまちづくり事業

エ 観光・国際交流・文化財の保護と活用・スポーツ振興の推進による幸福度
No.1のまちづくり事業

オ 創造性あふれる産業が息づくまちづくり事業

カ インフラ整備は、地域の発展と市民生活の質を向上させる事業

キ 「誰をも取り残さない教育」、「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」による幸福度No.1のまちを目指す事業

ク 市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され信頼される病院運営構築事業

② 事業の内容

ア 人、組織、未来づくり事業

確実な市民サービスを実施するための人材育成と組織力強化、持続可能な行財政基盤の確立、情報を的確に届ける広報の強化、DXを活用した業務効率化の推進、的確な災害対応と安全・安心なまちづくりを実践していく。

【具体的な事業】

- ・ 自主防災組織育成事業
- ・ 行政DX推進事業
- ・ 公共施設等マネジメント事業
- ・ 魅力ある地域コミュニティハブ創生事業 等

イ 幸福度にあふれる「仙北市」を次世代につなぐ事業

少子高齢化が人口ビジョンの予測を超えて進むふるさと仙北市を幸福度全国No.1のまちにするため、第2次仙北市総合計画等を適宜見直しながら着実に実行する。実行にあたっては柔軟且つ部局横断的な連携を図り、前例にとらわれない新たな視点での政策立案を行うとともに、徹底的に無駄を排除し、食欲に”稼ぐ”市役所に変貌させ、喫緊の課題である財政健全化を実現する。

【具体的な事業】

- ・ ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業
- ・ 定住対策推進事業
- ・ 地域公共交通対策事業 等

ウ 優しさにあふれ健やかに暮らせるまちづくり事業

少子高齢化の様々な課題に対応し、健康寿命の延伸と子育て支援の充実を図るための各種施策を通じて幸福度の向上に貢献していく。市民が住み慣れた場所で、自分の居場所を持ち、健康で生きがいを感じられる、

人と人がつながる共生のまちづくりを進める。国や秋田県の制度変更に臨機応変に素早く対応し、市民の幸福度の向上に貢献していく。

【具体的な事業】

- ・医療 Maas 管理運営事業
- ・PHR 管理運営事業
- ・放課後児童対策事業 等

エ 観光・国際交流・文化財の保護と活用・スポーツ振興の推進による幸福度 No. 1 のまちづくり事業

豊富な地域資源を活用した観光産業の振興、歴史的文化遺産の保存・継承と活用、芸術文化の推進、スポーツによる健康づくりの促進などにより、交流人口、宿泊者数、観光消費額増、市の活性化を図る。具体的には、以下の事業を積極的に展開する。

- ・新たに策定した第3次観光振興計画に基づき、質の高い観光地形成、稼げる観光地化を目指す。
- ・リトリートを推進するとともに、台湾、タイとの市民レベルでの国際交流を展開する。
- ・市民が文化財に触れ、地域一体となった保護体制の構築を目指す。
- ・生涯スポーツの推進を図りスポーツの環境整備の充実に努める。

これら、観光・国際交流・文化財の保護と活用・スポーツ振興の推進により、「仕事などやりたいことがあるまち」、「日々の暮らしで生きがいを感じてくれるまち」づくりを進め「全国幸福度 No. 1」を目指す。

【具体的な事業】

- ・観光宣伝事業
- ・グリーンツーリズム推進事業
- ・歴史・まちづくり推進事業
- ・人と地域を創生する観光誘客事業 等

オ 創造性あふれる産業が息づくまちづくり事業

本市における産業従事者の高齢化や若い人材、後継者不足が深刻・慢性化している現状を踏まえ、農業分野においては、就農者を増やすため、ほ場整備事業を契機とした法人化や農地集積を推進するとともに、ICT・

IoT等の先端技術を活用したスマート農業の実践を促進し、魅力ある農業の実現を目指す。また、商工業分野においては、工業団地への魅力ある企業の誘致を推進し、新たな雇用の場を創出するとともに若者が働きやすいと感じる魅力的な仕事の創出、中小企業に対する人材確保等の支援を図り、創造性あふれる産業が息づくまちを目指し、幸福度向上に貢献する。

【具体的な事業】

- ・ 6次産業化経営力強化事業（経営多角化支援）
- ・ 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業
- ・ 企業誘致対策事業 等

カ インフラ整備は、地域の発展と市民生活の質を向上させる事業

社会基盤（道路、河川、都市計画、市営住宅、公園、冬期交通対策、温泉、水道、下水道）の維持整備に努めることで、安全・安心で暮らしやすく市民が幸福を感じるまちづくりを推進し、「全国幸福度No.1」を目指す。

【具体的な事業】

- ・ 水道未普及地域解消事業
- ・ 道路新設改良事業
- ・ 公園維持管理事業 等

キ 「誰をも取り残さない教育」、「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」による幸福度No.1のまちを目指す事業

学校教育においては、「ふるさとを愛し、未来の地域社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北のこどもの育成」を目指し、幸福度につながる「誰をも取り残さない教育」の実現に努める。

社会教育においては、「歴史と文化を尊び、ふるさとを愛し誇れる人づくりを目指した社会教育」、「同じ時代を生きるものとして他を思いやる心を養う生涯学習」による幸福度向上を目指し「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」を理念としたまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・ キャリア教育・ふるさと学習支援事業

- ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業
- ・GIGA スクール構想推進事業 等

ク 市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され信頼される病院運営構築事業

市立田沢湖病院、市立角館総合病院の健全な病院運営を図り、地域の病院として、持続可能な医療提供体制を確保し幸福度全国No.1のまちづくりに努める。実行に当たり、市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され、信頼される病院を目指す。

【具体的な事業】

- ・仙北市地域医療計画事業
- ・医師、看護師等を目指す人材育成事業 等

※ なお、詳細は仙北市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

外部有識者で構成される仙北市総合政策審議会による効果検証を毎年9月頃に開催し、事業の進捗状況、施策の効果を評価、検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後すみやかに、本市の公式WEBサイト上に結果を公表する。

⑤ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

5-3 その他の事業

○ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用（内閣府）： 【E2001】

① 事業の名称

5-2の①事業の名称に同じ。

② 事業の内容

5-2の②事業の内容に同じ。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

5－2 の④事業の評価の方法（P D C Aサイクル）に同じ。

⑤ 事業実施期間

5－2 の⑤事業実施期間に同じ。

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで